

J A 自己改革推進レポートについて

令和6年1月24日
J A 鳥取県中央会

1. J A 自己改革実践状況

(1) J A 鳥取西部の取り組み

① J A まつりを各支所で開催

J A 鳥取西部の9支所（米子南、会見、みのかや、淀江、日野、岸本、名和、江府、中山）は11月3日から19日の間に、各支所や米子カントリーエレベーター前などでJ A まつりを開催した。

コロナ禍の影響で4年ぶりに開催する支所が多く、たくさんの組合員や職員、地域住民が訪れ親睦を深めた。

地元農産物の販売や飲食コーナーのほか、地元女性会手作りの大山おこわ、豚汁の無料配布、ビンゴ大会や歌謡ショーなど各支所独自のイベントを行い、会場は大いに盛り上がった。

これからも組合員との対話を通じて地域に根ざしたJ Aを目指す。



② 小学生が地元特産「大山ブロッコリー」学ぶ。ゆるキャラも登場

大山町立大山小学校の児童が12月8日、「大山ブロッコリー」のほ場やJ A 鳥取西部大山青果物集出荷予冷センターなどを社会科見学し、地元の特産について学んだ。児童は、畑に育つ「大山ブロッコリー」を見学し、おいしく作るポイントや価格の決め方などについて生産者から説明を聞いた。予冷センターでは、J A 担当者の案内で真空冷却装置や予冷库など設備を見学し、センターの役割を学んだ。また、「大山ブロッコリー」のゆるキャラ「ロッコとリーブ」がサプライズ登場し、児童は笑顔を見せた。



③特産白ネギ「伯州美人」を給食で味わう。地元食材への意識や関心高める。

J A鳥取西部弓浜営農センターの職員が12月12日、啓成小学校で講師として登壇し、特産の白ネギ「伯州美人」について説明を行った。児童は白ネギの生産や出荷、「伯州美人」の特徴などを学んだ。

同日は米子市が「伯州美人」を使った給食を約4000人分、同市内の小学校や中学校など11校に提供した。希少な地元食材を使った給食の提供により、地元への意識や関心を高める食育の推進につなげたい考え。児童生徒は「伯州美人」を使った郷土料理「じゃぶ汁」のほか、豚肉やニンジンなど様々な県産食材を使った料理を堪能し、そのおいしさを実感していた。



以上